

# 宮司挨拶



令和の御代となり初めての春を迎え、皇室の弥栄と講中崇敬者各位の益々のご繁栄を、心よりご祈念申し上げます。

御嶽山でも陽だまりに梅の花が咲きはじめ、小鳥の囀りに春の訪れを感じるこの頃でございます。

昨年は大型台風十五号・十九号とつづけて上陸、また記録的な大雨洪水による自然災害の発生と、甚大な被害に見舞われ、中には尊い命を落とされた方々もおります。心からのご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

私も武蔵御嶽神社も夏の時期、土・日の雨そして連休には続いている台風による大雨に、参道・ハイキングコースの崖崩れが多数発生し、しばらく通行止めとなり、夏から秋にかけての登山・参拝者の数は激減いたしました。

新しい年になり少しずつ参拝のお客様が増えてきたかと思っていたところ、新型コロナウイルスの流行、感染拡大を受けて、外出を控えるよう緊急対策の発表と、まだまだ厳しい状況が続いております。

これからの登山シーズンを迎え、一日も早く収束に向かいますようお願いいたします。

不安なことも多い毎日ですが、三月八日には、山開き・春の大祭を厳しく斎行し、御嶽大神様のご加護のもと、安心・安全に暮らせる国となりますようお願い上げる次第であります。

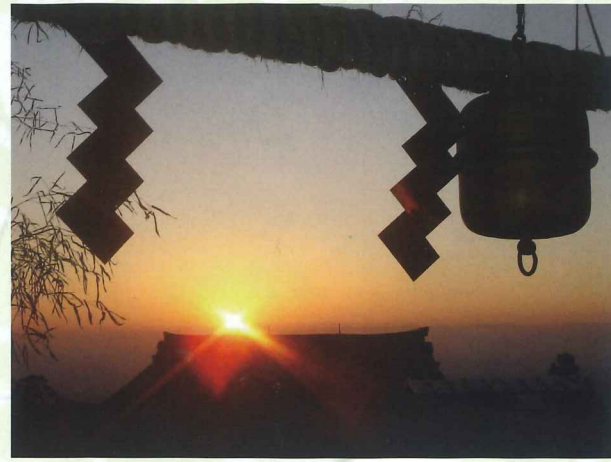
講中はじめ崇敬者、皆様方のご参拝を

お待ち申し上げ、ご挨拶いたします。

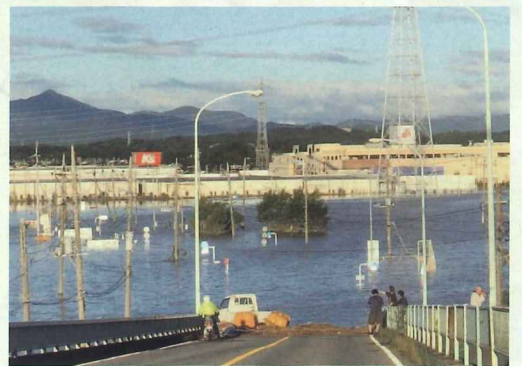
令和二年 三月 吉日

武蔵御嶽神社

宮司 須崎 裕



昨年10月の台風被害 御岳駅前の山肌



上記2枚 講中被害の様子



御嶽橋より撮影 御嶽小橋が流される

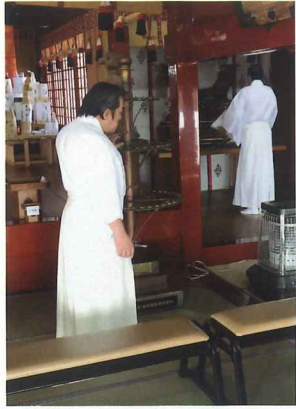
## 神社祭時記

【十月・十一月】

赤とんぼ 筑波に雲も なかりけり

正岡 子規

十月下旬「神職祭祀講習」が開催された。講師として篠直嗣先生を迎え、日頃の研鑽の確認や作法修練に励んだ。多くの神職と共に、職場体験学習で青梅市立西中学校の生徒八名も参加し、神社祭祀を学んだ。中学生達は西洋化が進む生活環境の中で、初めて体験する日本古来の作法を体験し、驚きつつその瞳には輝きを見せていた。



十一月八日「秋季大祭」、同月十五日「大嘗祭奉告祭」が斎行され、徳仁陛下が天皇に御即位されて初めての新穀を神々に供え、国家・国民の安寧、五穀豊穡を皇祖天照大神、天神地祇に感謝し、恙なく御祈念なされた旨を、御嶽大神へ奉告した。

【十二月・一月】

うまそうな 雪がふうわり ふわりかな

小林 一茶



十二月みたけ山トレイルランが開催された。台風の影響を受けた、ロックガーデンや大嶽山登山道の悪路をものともせず、軽やかに走り抜けるランナーの姿に、自然災害と戦いながら復興を成し遂げる、日本人の力強さが重なった。

大晦日には、新年を迎えるカウントダウンイベントに三宅宏美選手を迎え、賑やかな新年の幕開けとなり、御来光を拝む参拝者は境内を埋めた。日の出と共に上昇気流に乗って飛び立つ二羽の鷹に、今年一年の吉兆として、「元旦祭」では世界平和と国家安寧を祈念した。

また同月三日早朝には「太占祭」も恙なく斎行された。



【二月・三月】

梅のさく 門は茶屋なり よきやすみ

正岡 子規

寒さが一番厳しくなる二月、参拝者も寒さのためか、参道の茶屋にて暖をとつつ山頂を目指す姿が見受けられる。そんな凛とした時節の二月三日「節分祭」が執行された。多くの年男・年女の協賛の元、盛大な「追儺式」を行い、大勢の参拝者は、広前で振る舞われた甘酒を飲みながら笑顔で吐く白い息が、笑い声と共に青空に染みこんでいった。



同月二十三日天皇陛下の御誕生日を奉祝し「天長祭」が斎行され、御長寿並びに国民の平安を祈念した。三月八日「春季大祭」では、今年の農作物の五穀豊穡と国家安寧と共に、広まりつつある新型コロナウイルスの回復を祈念した。

## 御岳山の行事

令和二年

- 一月 一日 元旦祭
- 三月 三日 太占祭
- 三月 三日 大口真神社祭
- 三月 初午 稲荷社祭
- 三月 二十三日 天長祭
- 三月 二十八日 春季大祭(祈年祭)
- 四月 二十日 奉納俳句奉告祭
- 四月 十六日 産安社祭
- 四月 二十九日 奉納剣道大会・介山祭
- 五月 七日 日の出祭(宵宮)
- 五月 八日 日の出祭(神輿渡御)
- 五月 十五日 男具那社祭
- 六月 二日 大口真神社祭
- 六月 二十一日 神楽と雅楽の一般公開
- 六月 二十七日 修行体験講座(二泊)
- 六月 三十日 夏越大祓
- 七月 十八日 レンゲシヨウまつり(九月十二日)
- 七月 十八日 新神楽
- 七月 十九日 滝行体験講座
- 七月 六日 カンタンを聴く会
- 七月 十二日 新神楽
- 七月 十三日 一日修行体験講座
- 七月 二十七日 御岳山天空縁日
- 七月 二十九日 大口真神社祭・流鏝馬祭
- 七月 三十一日 敬神奉賛員大祭
- 七月 十八日 神楽と雅楽の一般公開
- 七月 十七日 天空もみじまつり
- 七月 二十四日 (十一月二十三日)
- 七月 八日 秋季大祭(新嘗祭)
- 七月 二十三日 末社祭
- 七月 三十一日 御岳登山競走
- 七月 六日 第四次曜日 夜神楽
- 七月 八日 月次祭
- 七月 毎日 日供祭